

(様式7)

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月 29日

事業所名 いるかデイ仙北

保護者等数(児童数) 4

回収数 3

割合 75 %

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3				
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	3				
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	3				
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	3				
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	2	1		楽しい企画でありがたいです。	お子さんの、成長・発達を踏まえて、楽しく夢中になれるような活動を考えていきます。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		3		わからない。あるのかもしれないが、コロナの影響で止まっているのかも。	感染症対策と一人お一人のお考えを尊重したうえで、どのような交流が可能なのか検討していきます。
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3				
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	3				
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3				

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		1	2	私はそこまでの交流は希望していません。 あるのかもしれないが知らない。もしくは、コロナの影響で中止になっている。	お一人お一人のお考えを尊重した取り組みに努めていきます。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	1	2		本人が訴えられないため不明。	お子さんが声や表情や身体の動き等で訴えていることを、職員がきめ細やかに観察し、対応するように努めています。その結果を保護者さんに伝えていきます。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3				
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	2	1		定期的におたよりいただく。	さらに充実した紙面になるように努めていきます。
	14	個人情報に十分注意しているか	3				
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか		2	1	あるのかも。	分かりやすく周知していくようにします。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか		2	1	していると思われる。	分かりやすく周知していくようにします。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	3				
	18	事業所の支援に満足しているか	3			いつも見守って下さり、支えて頂いています。日常の一部になっています。 家族支援としてとらえていただいて、大変助かっている。ありがたいです。	お子さんと保護者さんに安全に安心して利用していただけるよう、改善を進めながら支援に取り組んでいきます。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

(様式9)

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 29日

事業所名 いるかデイ仙北

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	3		感染対策、移動・移乗時の安全確保、プライバシー保護、快適な温度・湿度の確保等を心がけており、ハード面で難しい際は配置を工夫して対応をしている。	利用者さんの状況の変化に速やかに対応し、安全・快適に過ごして頂ける環境を引き続き確保していく。
	2	職員の配置数は適切であるか	9	2		基準以上の職員配置をしており、少しでも手厚い支援ができるよう配置を心掛けている。	多職種の職員同士が連携して医療的ケアや支援を安全に行うための情報共有をさらに確実に行っていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	2		玄関スロープ、屋内の各所に手すりを設置、フラットなフロアとなっている。	より快適に過ごせるように、細かな段差解消やトイレの十分な介助スペース確保に取り組んでいく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8	3		手順書の見直し等を担当職員が中心となり、みんなの意見を聴きながら取り組んでいる。	引き続き継続していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	1		日々のさりげない会話から、隠れたニーズをくみ取り、職員間で共有している。	独自の満足度調査・思考調査を検討し、業務改善につなげていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	3	1	法人ホームページにおいて公開している。	文書の掲示と配布をしていく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	6		第三者評価については未実施だが、評価項目を参考に業務の振り返りを行っている。	第三者評価の受審については、法人全体の中で検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	4		リモート研修を活用し、業務の合間に受講できるようにした。また、毎月の職員会議を研修の場として活用している。	感染症の状況をにらみながら、対面研修に参加していく。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	1		契約時やモニタリング時に保護者面談を行い、詳細を確認し、個別支援計画を作成している。	随時、保護者の真のニーズ、子どもの発達、状態の変化に適切に対応して行く。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	5		アセスメント様式を用いている。	当事業所の利用者の状況に合ったものに改訂していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	3		職員会議・ミーティングにて行事や活動について話し合い、意見交換を行っている。	5領域を踏まえて、より多面的な視野に立った行事や活動について検討していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	3		季節行事や創作活動など、時期に合わせた活動を取り入れている。職員会議などで話し合いながら、感染症に注意し新しい活動を取り入れている。	活動プログラムを考えるうえで参考になる情報を得る機会を増やしていく。

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標	
適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	5	1	個々のニーズ、体調、天候等に応じて設定して対応している。	さらなる柔軟性を持った支援をしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	6		利用者・保護者のニーズや状態を確認して、医療的な注意点を考慮しながら個別の対応も行っている。	当事業所の利用者に合った集団活動について情報を集め検討していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	3		朝のミーティングや、必要に応じての打ち合わせ、ホワイトボード、引継ぎノートを使用し、確認している。	変更点が生じた場合の周知・確認をさらに確実にしていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	6	1	ミーティング、引継ぎノート、支援記録システムを活用し、全職員で共有している。	その日の支援終了後のミーティングにより多くの職員が参加できるよう検討していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	3		支援記録システムを導入し、情報共有し支援に生かしている。	記録の分析について、さらに深めていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	4		定期的にモニタリング行っている。	子どもの変化に合わせてモニタリングの機会を増やす。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4	6	1	個別活動や集団活動を行い、季節行事や創作活動なども取り入れながら、それぞれの子ども状況に適する活動を行っている。	それぞれの子どもの最適な基本活動の組み合わせ・割合を引き続き検討していく。
関係機関や保護者と	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	5		サービス担当者会議等には児童発達支援管理責任者に限らず看護師、児童指導員等も出席している。	引き続き継続していく。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	11			学校からの一斉メールの配信先に登録している。送迎時に学校の先生と情報を交換したり、必要に応じて電話やメールで連絡を取っている。また、進路担当の先生などを通じ情報交換と相談を密に行っている。	引き続き継続していく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7	4		医療的ケアが必要な場合は、主治医からの指示書に基づいて実施している。また、必要に応じて嘱託医に相談している。	引き続き継続していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	8		必要に応じて施設に向き児童の様子を見学したり、支援会議等で情報交換を行っている。	必要に応じて、引き続き継続していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7	3	1	学校卒業後は、事業所内の生活介護に移行するためスムーズに情報を共有できている。また、学校との情報交換や見学・会議を行っている。	必要に応じて、引き続き継続していく。

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標	
の 連 携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	6		相談や個別の会議を行うようにしている。研修は感染症対策のためネット研修にて参加。	いろいろな感染症の動向をにらみながら、対面での助言や研修の機会を検討する。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	5	4	感染症対策のため対面での交流の機会はなかった。利用者・保護者の意向を確認しながら取り組んでいる。	感染症対策に万全を期して、利用者・保護者の意向に沿いながら取り組んでいく。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	3	7	1	医ケア連絡協議会に参加している。	引き続き継続していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	2		送迎時や連絡帳を活用し情報を交換している。また、随時電話相談等を行い共通理解に努めている。	日頃のさりげない会話を大事にしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	8	2	主な対象者を重症心身障がいとしており、ペアレント・トレーニング等の支援は行っていない。	利用児童の実態に合った保護者支援のあり方について検討していく。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	1		契約時に説明しており、事業所内にも掲示している。必要に応じて根拠や背景なども含めて、説明している。	引き続き、丁寧に分かりやすい説明を工夫していく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	2		何か相談があった場合は迅速かつ丁寧に対応するよう心掛けている。	より適切な助言と支援が行えるよう、職員のスキル向上に取り組んでいく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		9	1	父母の会は組織されていないが、それぞれの保護者の意向を尊重しながら、孤立しないような働きかけを心がけている。	それぞれの保護者の意向を尊重しながら、孤立しないような働きかけを続けていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	4		苦情解決責任者、苦情受付窓口、第三者委員など苦情解決体制を整備しており、苦情があった場合は迅速かつ丁寧に対応するよう心掛けている。	要望等の対応結果について、更に周知していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10	1		親しみやすく活動の様子が伝わる内容の機関紙を編集し発行している。	行事予定、連絡事項、非常時の対応などの情報をさらに盛り込んでいく。
	35	個人情報に十分注意しているか	11			他機関への情報提供や写真掲載等の個人情報の取扱いについて、承諾を得た上で慎重に扱っている。書類の廃棄にも注意を払っている。	繰り返し個人情報の取扱いについて十分注意するよう、職員に周知していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11			個別的な関わりにより発する声や表情・仕草など微弱なサインを汲み取るよう努めている。また、問いかげなども一人一人に応じた工夫をし、自己選択の場を意識してコミュニケーションをとっている。	より一層個々の特性に合わせて、良好なコミュニケーションが取れるようにしていく。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		5	6	地域住民を招待しての行事は行っていない。保護者・利用者の意向を尊重している。	事業所について地域の人々に正しく理解できるよう発信する方法について検討していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	3		各種マニュアルは整備し、職員に周知している。	保護者へ対応について分かりやすい周知を検討していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	1		避難訓練を実施している。 (火災・水害・地震)	引き続き緊張感をもって取り組んでいく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	2		研修会に参加した職員が、職員全体へ伝達を行っている。報道等で事案があった場合は、それを話題にして、研修の機会としている。	繰り返し小さな芽、普段の何気ない支援に潜んでいる関連性に注意するよう、職員に周知していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9	2		身体拘束を行う場合について個別支援計画等を作成し、説明し同意を得ている。	引き続き繰り返し職員に周知していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	3		食物アレルギーについて、アセスメント時やモニタリング時に保護者に確認している。	全職員で情報を共有して、確実に対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	1		すぐにミーティング等で報告し対応について話し合い、記録を回覧し共通理解と再発防止に努めている。	ヒヤリハットに該当するかどうか迷うような事例も共有していく。